

観 光 企 画 課

平成 19 年は、前年に続き平成 25 年に控えた第 62 回神宮式年遷宮の行事の一つで、伊勢市の無形民俗文化財である「お木曳行事（第二次）」が 5 月から 7 月にかけて、地元市民及び全国から応募された一日神領民により、厳粛かつ盛大に執り行なわれた。

国においては、観光を 21 世紀の国の重要な政策の柱に位置づける「観光立国推進基本法」が平成 19 年 1 月に施行、6 月には国際観光の振興や観光旅行促進のための環境整備などを定めた「観光立国推進基本計画」が示され、平成 20 年 10 月には観光庁が設置される。また、訪日外国人旅行者を拡大するため「ビジット・ジャパン・キャンペーン」も推進されており、平成 19 年には過去最高の 834.7 万人（前年比 13.8%増）を迎え好調な伸びを維持している。

三重県全体の観光入込み客数は 3,397.5 万人で、前年に比べ 105.2 万人（3.2%）の増加となっており、県内全域で取り組んだ（社）三重県観光連盟の観光キャンペーンや、県内各地での取り組みなどの効果が考えられる。

伊勢志摩地域では、観光入込み客数は 972.5 万人で、前年に比べ 53.8 万人（5.9%）の増加となっており、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道（株）と共同で実施した「伊勢志摩キャンペーン」の効果が大きい。

当市の観光客数指標とする平成 19 年における伊勢神宮内宮・外宮の入込み客数は、708 万人で前年と比べて約 79 万人（12.6%増）の増加となっている。この要因としては、お木曳行事や三重県観光販売システムズとタイアップした「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業の効果が考えられる。

近年、観光を取り巻く環境は、団塊世代の退職等の時代背景のなか、旅行ニーズの多様化・小グループ化への傾向が顕著になっており、時代変化に対応した観光振興策が求められている。

○ 観光施設管理運営事業関係

1 平家の里施設管理事業

平家の里キャンプ村及び農林漁業体験実習館等の平家の里利用施設について、昨年度に引き続き、「伊勢市矢持平家の里振興会」が指定管理者として管理運営を行った。

<平家の里キャンプ村（昭和 57 年度整備）>

恵まれた環境のもと、自然活用型の平家の里キャンプ村を 7 月 1 日～8 月 31 日までオープン。

(1) 指定管理料 2,956,000 円

(2) 利用状況

区分 月別	ロ ッ ジ		毛 布		テ ン ト		計
	件数	金 額	枚数	金 額	件数	金 額	
7	棟 21	円 108,150	枚 45	円 9,000	張 1	円 1,030	円 118,180
	人 102				人 1		
8	72	370,800	109	21,800	21	21,630	414,230
	350				64		
合 計	93	478,950	154	30,800	22	22,660	532,410
	452				65		

(注) ロッジ 17 棟のうち、5 棟が市、12 棟が地元振興会の所有である。

利用者内訳・・・【ロッジ】市内 109 人 (24%) ・県内市外 166 人 (37%)
 県外 177 人 (39%)

【テント】市内 (18 人) ・県内市外 (8 人) ・県外 (39 人)

<農林漁業体験実習館 (昭和 61 年度整備・新農業構造改善事業) >

四季の織り成す自然との共生の中で、自然と触れ合える事業が実施できる施設として、農林漁業体験実習館を委託運営した。

(1) 指定管理料 2,190,000 円

(2) 利用状況

(単位：件)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
研修・作業室	1	1	4	1	6	0	0	0	4	2	0	0	19
調理実習室	1	0	4	0	5	0	1	0	0	1	0	0	12
会議室(1)・ (2)	0	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	8
シャワー室	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
冷暖房	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	3
合 計	2	1	15	1	16	0	1	0	4	5	0	0	45

(3) 使用料収入

区分 月別	施設使用料		
	件数 (件)	利用者 (人)	金額 (円)
4 月	2	125	12,160
5 月	1	25	1,440

6月	6	168	34,080
7月	1	100	9,700
8月	7	90	69,690
9月	0	0	0
10月	1	9	2,460
11月	0	0	0
12月	4	93	5,760
1月	2	57	16,380
2月	0	0	0
3月	0	0	0
合計	24	667	151,670

<平家の里ふれあい体験事業>

平家の里の四季折々における自然とのふれあいの中で、下記の体験イベントを実施した。

開催日	事業名	参加人数(人)
12月9日(日)	竜ヶ峠ウォーク	44
12月15日(土)	注連縄作り	2
12月16日(日)	椎茸菌打ち	16
2月2日(土)	炭焼き体験	9
合計	4事業	71

○ もてなし心醸成事業関係

1 低床バス導入補助金

伊勢・鳥羽地域の観光施設等を快適に移動できるCANバスに低床バス（ノンステップバス）を昨年に続き導入するため、国と共同で補助を行った。

これにより、高齢者や身体障がい者の移動の利便性及び安全性の向上を図り、伊勢志摩地域のイメージアップに繋げた。

事業主体：(株)三重交通

補助金：伊勢市（1,200千円） 鳥羽市（800千円）

年間乗車数：H17 169,672人

H18 161,229人

H19 205,264人

2 伊勢観光活性化プロジェクト事業

「市民力の結集」を活用した新しい観光振興を図るため、市民団体等と行政が一体となり、本市の観光に関する現状と課題を話し合い、各組織が互いに役割を認識しながら連携できる体制づくりを図った。

参加数：団体参加数 49 団体、個人参加数 12 人（H20. 3. 31 現在）

開催内容

開催日	内容
9月27日（木）	伊勢の観光まちづくりをふりかえり共有しよう！
10月23日（火）	伊勢の観光まちづくりに必要な機能を考えよう！
11月15日（木）	伊勢の観光まちづくりに必要な機能と組織体制のあり方を考えよう！
12月3日（月）	伊勢観光まちづくり団体交流会
1月16日（水）	これまでの議論をふり返り、伊勢観光まちづくりの推進体制に係る考え方を共有するとともに、次への具体的行動に踏み出そう！
3月10日（月）	推進体制と具体的な活動計画について検討しよう！

全体会議：6回 打ち合わせ会：17回 調査事業：6回

○ 旅客誘致受入宣伝事業関係

1 観光情報発信事業

インターネットを活用して、（社）伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信、動画配信、また効率よく検索できるデータベースの情報充実（市内散策地図・観光資源・歳時記や観光協会員の店舗紹介など）、最新情報の更新を実施。

【平成14年3月開設 平成20年3月末累計数 1,318,655件〔平成19年度1日平均1,191件〕（携帯電話からのアクセス件数含む）】

また、観光パンフレット（ホームページと連動した情報を掲載）を観光・物産展、観光案内所、観光客の問い合わせなどに応じて提供する。（観光企画課からの個人及び旅行エージェント等へのパンフレット発送件数527件〔平成20年3月末現在〕）

<東京事務所>

平成19年10月9日から、津市が都市センターホテル内に構える東京事務所の一部を共同使用し、東京三重県人会をはじめとする首都圏への情報発信を行っている。また、都市センターホテルに入っている他行政事務所と交流を図り、観光客誘致に努めている。

<遠方キャンペーン・おもてなしクーポン>

従来から、来訪が期待できる遠方地にターゲットを絞った観光誘客や情報発信に着手することが課題であり、平成 18, 19 年に執り行われたお木曳行事では、一日神領民として北海道、東北、九州などの遠方地からも多数の参加者の実績があったことから、平成 25 年の御遷宮に向け、公共交通機関での旅行が主体となる遠方地からの誘客強化を実施した。

また、遠方地からの誘客に関しては、広域性が重要であることから、伊勢志摩、伊勢熊野、京都、といった周遊性を高める必要があり、また、旅行会社を通じての来訪傾向が強いため、主に当地域に精通した旅行業者の商品開発担当を介する手法で、旅行商品造成を行った。更には、新聞、テレビ、雑誌といったマスメディアを活用することで、市場の目に触れる機会を継続的に図ることを目的にメディア各社に赴き、情報収集・発信等を行う事業を展開した。

遠方地の方々が数ある旅行先の中から訪問先を決定する際に必要なプラスα要素として、遠方の方だけが利用できるクーポン（伊勢おもてなしクーポン）を作成した。このクーポンは（社）伊勢市観光協会と共同で作成した、有志の観光協会員施設を対象とするものであり、旅行会社が伊勢を採り上げる際に、顧客満足度の向上を図ることができる事から、誘客ツールとして広がりを見せている。

平成 20 年 2 月 19 日～22 日の期間、札幌市、室蘭市内の旅行会社、放送局、雑誌社、新聞社等を訪問し、主に「伊勢おもてなしクーポン」の利用促進を図った。

※クーポン作成部数

- ・「伊勢おもてなしクーポン」 15,000 部
- ・「伊勢おもてなしクーポンお宿編」（宿泊施設を対象としたもの） 5,000 部

利用期間：平成 20 年 4 月 20 日～平成 21 年 3 月 31 日

<DVD作成>

伊勢エリアを中心とした観光情報を紹介したDVDを作成し、遠方キャンペーン等において活用を図った。

作成枚数：200 枚

2 広域連携事業

次のとおり協議会等へ参画した。

<伊勢熊野観光連絡協議会>

紀勢線の全通に伴い、お伊勢参りと熊野詣でを目的とした旅客の誘致を図り、相互の連絡を密にすることを目的に設立（昭和 40 年 9 月 1 日設立、6 市（伊勢市・鳥羽市・尾鷲市・熊野市・新宮市・田辺市）7 町（玉城町・多気町・大紀町・紀北町・那智勝浦町・太地町・串本町）、2 県（三重県・和歌山県）、鉄道会社、バス会社、観光連盟等、22 団体構成）。

平成 18 年より会員拡大を実施したことから、「お伊勢参りと熊野詣」をテーマとした広域パンフレットの作成（30,000 部）を行った。また、新規加入した町において幹事会と研修を実施し、熊野から伊勢への国道 42 号線周辺地域の知識を深めた。

<伊勢志摩学生団体誘致委員会>

国内・海外からの学生団体旅行等を伊勢志摩地域へ誘致することを目的に設立（平成 18 年 4 月 25 日設立、3 市（伊勢市・鳥羽市・志摩市）1 町（南伊勢町）、三重県、観光協会、商工会議所、宿泊施設、観光施設、旅行会社等、55 団体構成）。自然学習、体験学習の宝庫である伊勢志摩を広域的に紹介した、学生団体誘致用旅行ガイドブック「伊勢志摩に、おいさないさあ」を活用して、修学旅行担当の旅行エージェントをはじめ、首都圏の中学校や関西方面の小学校を中心に誘致宣伝活動を展開した。

<伊勢志摩地域鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会>

伊勢志摩地域・鳥羽市における国際観光・外国人観光客の受け入れを促進することを目的に設立。（平成 15 年 2 月 6 日設立）

平成 19 年 4 月 18 日～21 日、伊勢・鳥羽・志摩の 3 市長が、新たな市場として期待する中国上海、蘇州の教育関係者を訪問し、修学旅行を中心とした誘客活動を行った。

<その他>

（社）伊勢市観光協会・（社）日本観光協会・（社）三重県観光連盟・（社）伊勢志摩観光コンベンション機構・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・歴史街道推進協議会・（財）伊勢志摩国立公園協会・伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会・東海地区外国人観光客誘致促進協議会・（財）日本さくらの会

3 「はじまりのまち伊勢」誘客戦略推進事業

昨年度に引き続き、従来の観光パンフレットやインターネットを通じた情報発信の取り組みに加え、三重県（三重県観光振興プランに基づく事業）と共同で伊勢の観光資源を十分に活用した観光商品の開発、旅行会社向けの集客パンフレットを作成した。特に、平成 19 年度は「お木曳行事（第二次）」を中心に、平成のおかげ参りプランなど、平成 25 年の御遷宮に向けて、情報発信、誘客活動を展開した。

旅行会社名	内 容	部 数
クラブツーリズム横浜	「お木曳プレミアムツアー」	5 万部
クラブツーリズム東海	5 月号「お木曳ツアー」	15 万部
クラブツーリズム関西	5 月号「お木曳ツアー」	22 万部
名阪近鉄	カッコー神嘗祭ツアー秋号チラシ掲載	35 万部
ヒップス	「大阪：伊勢神宮&伊勢」情報発信	25 万部
クラブツーリズム関西	「初詣お伊勢さん」11 月号	35 万部
農協観光	「神嘗祭」配布チラシ A 4 サイズ	2 千部
JTB 中部	神宮日帰りバスパック	5 万部

近畿日本ツーリスト中部	神宮日帰りバスパック	5万部
名鉄観光サービス	神宮日帰りバスパック	3万部
日本旅行中部	神宮日帰りバスパック	5万部
三交トライパル	神宮日帰りバスパック	3万部
クラブツーリズム	お気軽バスツアー「お伊勢さん初詣」	22万部
クラブツーリズム	東京発新年号「伊勢神宮を正式参拝」 「ロイヤルクルーザー5日間」	25万部
農協観光	豊年講春版掲載	1万部
美し国周遊バス	メインパンフレット	10万部
合 計 17 件		216万2千部

4 大都市圏旅客誘致推進事業

伊勢志摩地域への誘客を図るため、(社)伊勢市観光協会と協働で、平成19年度は鳥羽市、志摩市、(社)伊勢志摩観光コンベンション機構及び南伊勢町も加わり、6月22日～24日に葛飾柴又寅さん記念館及び都内のアンテナショップにおいて、情報発信(うち23、24日は観光物産展開催)を行った。

また、三重県観光記者発表会(メディア交流会)において、神宮式年遷宮行事の宇治橋渡始式を中心とした観光情報発信を行った。

平成20年1月28日 ホテル椿山荘東京(東京都) 参加メディア数約349社

平成20年2月6日 シェラトン都ホテル大阪(大阪市) 参加メディア数約173社

5 各種集大会等誘致開催補助金

集大会の誘致を図るため、市内の集会施設を利用し、市内に宿泊することを原則とした県大会規模以上の各種集大会に対し、補助金を交付した。

(市内での宿泊1人1泊あたり300円の補助)

期 日	集 大 会 名	延参加人員 (人)	延宿泊人員 (人)	会 場	交付確定金額 (円)
8/1～3	第40回全日本薬学生 ソフトテニス大会	332	369	市営庭球場	110,000
9/8～9	第50回東海陸上競技 選手権大会	2,300	525	県営総合競技場 陸上競技場	150,000
9/22～23	第3回JFA三重ガール ズサッカーフェステ ィバル IN 伊勢志摩	600	140	朝熊山麓公園芝 生球場・朝熊 公園	40,000
10/20～21	神宮奉納 全国生涯 野球 チア・アップ 伊勢大会	279	235	県営大仏山公園 野球場	70,000
10/20～21	第55回全日本実業団 弓道大会 第27回全日本実業団 弓道遠的大会	1,800	776	神宮弓道場	230,000

10/27～28	第3回 神宮奉納 全国高齢者ラグビー 伊勢大会	320	89	朝熊山麓公園芝 生球技場	20,000
12/15～16	第1回おおいな杯 ユースサッカー大会	300	105	伊勢生涯学習セ ンター	30,000
2/10	第11回東海小学生バ ドミントン大会（団体 戦）	600	72	県営総合競技場 体育館	20,000
2/15～16	ママさんバレーボー ル第8回親善交流大 会 in 伊勢	280	117	県営総合競技場 体育館	30,000
3/22～23	第11回伊勢市高校サ ッカーフェスティバ ル	660	171	朝熊山麓公園人 工芝フットボー ル場 朝熊山麓公園芝 生球技場	50,000
計	10件	7,471	2,599	—	750,000

6 伊勢志摩広域観光活性化事業

<伊勢志摩キャンペーン事業>

昨年度に引き続き、三重県・伊勢志摩地域・近畿日本鉄道（株）と共同して「伊勢志摩キャンペーン」を実施し、東京・大阪・名古屋地区において、神宮を中心とした伊勢志摩の観光PRを行った。また、ガイドブック（150,000部）、チラシ（150,000部）、ポスター（B1・3,000部、B2・3,000部、B3・56,000部、プレゼントPR・1,200部）を作成し、近鉄沿線や旅行会社等へ配布して、伊勢志摩地域の情報発信及びエージェントとタイアップによる誘客を行った。

<（社）伊勢志摩観光コンベンション機構>

伊勢志摩地域への誘客による活性化のため、（社）伊勢志摩観光コンベンション機構（平成6年3月設立、平成14年11月名称変更、平成18年4月社団法人化）に参画し、伊勢志摩への集大会・会議・展示会・イベント等のコンベンション誘致、伊勢志摩地域の情報発信に向けた観光事業・フィルムコミッション事業を展開した。

（社）伊勢志摩観光コンベンション機構支援集大会実績（伊勢市内開催分）

14件 延25,620人

コンベンション大会名	開催日	会場	延参加者数 (人)
オーストラリアフットサル代表チーム親善試合	5/9	サンアリーナ	1,700
中部・関西地区エコスタッフの集い	5/24～6/1	伊勢市観光文化 会館ほか	2,000
平成19年度東海地方公立高等学校事務長会研究 協議会・総会	6/14～15	伊勢市観光文化 会館	920
2007年中部日本プロ・アマ級別ダンス協議会	7/1	サンアリーナ	2,300

第一三共ヘルスケアレディース2007第19回東海卓球大会	8/21	サンアリーナ	800
平成19年度皇學館館友会全国大会	8/26	神宮会館ほか	200
東海北信越夏期美容研修会	9/10	サンアリーナ	1,000
第23回神宮奉納全日本ソフトテニス大会	10/20~21	市営庭球場	1,000
第30回全国土地改良大会三重大会	10/24~26	サンアリーナほか	7,200
第1回いせしま綱曳き大会	11/18	サンアリーナ	1,000
第12回里帰り伊勢音頭全国大会	11/25	観光文化会館	1,000
第26回お伊勢さん健康マラソン大会	12/2	伊勢神宮内宮・外宮間	2,300
第26回伊勢志摩中日ウォーク	12/9	伊勢志摩スカイライン	1,500
第19回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会	3/26~28	サンアリーナほか	2,700

7 外宮北御門周辺活性化事業

お木曳行事をはじめとする市民行事や観光イベント等の拠点として活用するため、NTT伊勢志摩ビル敷地を一時借用していたが、奉曳時期が3年間から2年間に変更されたことや、神宮司廳が当該土地の購入を希望されたことから、当初予定より繰り上げて一時使用契約を解約した。

利用実績

期日	使用者	目的	事業名
5/5~6/3	NTTアセット・プランニング東海	会場	お木曳き一日神領民「おもてなし広場」
6/14~10/25(毎週木曜)	生涯学習・スポーツ課	駐車場	みんなで学校へ集まろう「かんたんヨガ」スポーツ教室
7/12	(社)伊勢志摩観光コンベンション機構	駐車場	テレビドラマ撮影(テレビ東京水曜ミステリー9「捜査刑事 近松茂道⑧」)
8/1	外宮にぎわい会議	駐車場	外宮さんゆかたで千人お参り
9/29	生涯学習・スポーツ課	駐車場	市民新体力テスト調査
10/12~10/15	NTTアセット・プランニング東海	会場	神嘗奉祝祭「おもてなし広場」
10/21	あけぼの会 三重支部	駐車場	第二回講演会「乳がんについて学ぼう」
10/26	都市計画課	駐車場	視察対応(奈良県都市計画協会)
11/10~11/11	(社)伊勢市観光協会	駐車場	伊勢楽市
12/2	生涯学習・スポーツ課	駐車場	第26回お伊勢さん健康マラソン大会

3/23	(社)伊勢市観光協会	集合・解散場所	(社)伊勢市観光協会サイクリングイベント
3/8	アイリッシュ・ネットワーク・ジャパン三重支部	駐車場	第5回セント・パトリックスデーパレード伊勢

計 12 件

8 平成のお蔭参り事業

平成 17 年に宝永のお蔭参り 300 年を記念して実行委員会を設置し、お伊勢参りをテーマとした情報発信を行っている。19 年度は皇學館大学と共同でリレー講座や「伊勢まで歩講」を催行した。

(1) お蔭講座 (公開リレー講座) 全 10 回開催

市内開催状況：第 7 回小俣町新出公民館 (9 月 29 日)

第 8 回古市参宮街道資料館 (10 月 6 日)

(2) 伊勢まで歩講 (松尾芭蕉と吉田松陰の歩いた道) (11 月 1 日～4 日)

観 光 事 業 課

平成 19 年度は、5 月から 7 月にかけて市民及び全国からの一日神領民により、平成 18 年度に引き続き、平成 25 年におこなわれる第 62 回神宮式年遷宮の行事の一つで、伊勢市の無形民俗文化財である「お木曳行事（第二年次）」が厳粛且つ盛大に執り行われたこともあり、700 万余の観光客が伊勢へ訪れた。

平成 20 年度には、国土交通省に「観光立国」政策を強化する等の事業を行なう観光庁が設置されるため、地域にも重要な役割を果たすものと考えられる。今後あらゆる地域の魅力を生かした持続可能な地域一体型の事業を展開し、観光客の受け皿となる体制づくりが必要とされている。

○ もてなし心醸成事業関係

1 年末年始旅客の受入対策

平成 18 年度から、地元 15 団体による伊勢おもてなし会を設立し外宮前、外宮参道、伊勢市駅前広場を中心にかがり火、外宮参道ライトアップ、ふるまい等で初詣客におもてなしをした。

伊勢市観光協会としては、初参りの参拝客の観光案内を含めた接遇及び宇治浦田駐車場の管理を行い、大晦日に内宮、外宮で年越餅 5,000 個の配布した。

2 スポーツ関連行事もてなし事業

(1) 秩父宮賜杯第 39 回全日本大学駅伝対校選手権大会

11 月 4 日（日）に熱田神宮西門前から伊勢神宮内宮宇治橋前の 8 区間 106.8km を結ぶ大会が開催された。ゴール地点である伊勢市でゴールを知らせる景気花火を放揚するなど選手及び観客をもてなした。

(2) お伊勢さん健康マラソン大会

12 月 2 日（日）に 5 キロ・10 キロ及びウォーキングの 3 部門で開催された。おもてなし部門として、約 2,000 食の伊勢うどんの配給を伊勢おかみさん会と協働で実施した。

(3) 美し国三重市町対抗駅伝

3 月 16 日（日）に津市県庁前から伊勢市にある県営総合競技場までの 10 区間 42.195km を結ぶ大会が開催された。市内沿道に歓迎・応援用のぼりを設置した他、地元住民や選手の母校等で手作り横断幕を作成し選手の応援や歓迎をした。また、市内 13 の太鼓団体が沿道で応援した他、地元イセシマンをはじめ多数のご当地キャラクターがゴール地点で選手を出迎えた。

○ 観光一般事業関係

1 観光案内所の運営

外宮前、宇治山田駅構内及び二見観光案内所における運營業務を（社）伊勢市観光協会に委託した。また、外宮前、宇治山田駅構内観光案内所は三重県ではこの2箇所のみ外国人観光案内所（V案内所）に指定されており、外国人旅行者に対しても観光案内の提供を行なっている。

委託金額 8,848,000円（契約期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(1) 外宮前観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	3,908	4,360	3,319	3,708	5,430	4,569	4,058	3,832	3,249	6,274	4,251	5,009	51,967
外国人 件数	174	85	126	132	126	103	100	95	67	74	72	145	1,299

(2) 宇治山田駅構内観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	2,223	2,649	1,803	2,010	3,287	2,609	2,366	2,388	1,446	3,131	2,152	2,746	28,810
外国人 件数	65	65	36	40	49	69	56	48	30	28	23	52	561

(3) 二見観光案内所の利用状況（すべての案内件数・下段はその内外国人案内件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総件数	203	252	156	211	233	186	170	169	185	192	165	168	2,290
外国人 件数	0	0	0	10	2	0	0	1	1	3	0	1	18

2 （社）伊勢市観光協会への活動支援

平成4年に社団法人化された伊勢市観光協会は、昭和25年に宇治山田市観光協会として設立されて以来、行政と営利を目的とする観光関係事業者を中心とした民間企業との中間的な存在で、旅客誘致に係るイベント実施や観光宣伝など、様々な分野で弾力的・柔軟的に活動している。

平成19年度は、財政基盤の強化と事業展開の推進のため財政的な支援として、590万円を助成した。

○ 旅客誘致受入宣伝事業

1 明かり行事事業

夜のまちを賑やかにしようと、伊勢おはらい町会議を中心に「伊勢ヨイ夜ナ」実行委員会を一昨年設立し、10月26日（金）～28日（日）の3日間、午後5時～午後8時30分まで、伊勢神宮内宮前おはらい町界隈において、「伊勢ヨイ夜（ヤ）ナ」を開催した。

平成19年で3回目を迎えたが、雨天と強風のため、26日（金）はライトアップと一部の夜間営業のみを実施し、27日（土）はライトアップ、一部の夜間営業、ロウソクカップ点灯を実施した。28日（日）は計画どおり全ての事業を実施。

本事業は、市民参加型行事として、ヨイ夜ナサポーター（ロウソクカップの設置・撤去ボランティア）を広く募集した結果、悪天候にも関わらず3日間で55名の参加があった。

期間中は、内宮前や五十鈴川河川、おはらい町界限、宇治館町内に約5,000個のロウソクカップを設置したほか、五十鈴川の内宮宇治橋から200mほど下流にある「えぼし岩」一帯の川面のライトアップも実施した。また、伊勢市内外のミュージシャンがアコースティック音楽を中心に生演奏し来場者をもてなした。

観客数:11,500人

外宮地区においては、「外宮さんゆかたで千人お参り」は第10回を記念して7月28日（土）～8月1日（水）の5日間、外宮の夜間参拝や抹茶でのおもてなしを行い、8月1日（水）には、明かり事業の一環として、外宮にぎわい会議が中心となり、神宮参道に約1,000個のロウソク、「神話をテーマとした竹と和紙で作られた灯籠」を神路通りに約800個並べ、お祭りの雰囲気盛り上げた。また、浴衣姿での参拝は1,163人。法被、甚平などを加えると2,000人以上になるほか浴衣持参の観光客が年々市外、県外でも定着し始めている。

観客数:8,000人

2 フットサル事前キャンプ受入事業

AFCフットサル選手権大会日本2007へ出場するオーストラリア代表チームの事前キャンプを5月7日（月）～11日（金）に行なった。9日（水）には2006年度日本チャンピオンである名古屋オーシャンズとの親善試合が県営サンアリーナで行なわれ、約1,700人の観客が熱狂した。また、10日（木）には地元の子供たち58人と女性12人へのフットサルクリニックが開催され交流を深めた。

3 第1回伊勢・二見浦シーカヤックマラソン大会

8月25日（土）にNPO法人神社みなとまち再生グループを中心とした伊勢・二見浦シーカヤックマラソン大会実行委員会が、千古に清き五十鈴川、江戸時代からの間屋町河崎に流れる勢田川、おかげ参りの渡し清流宮川、三つの川の流れが一つになる河口、神社港から五十鈴川、二見夫婦岩を舞台に第1回伊勢・二見浦シーカヤックマラソン大会を開催し、全国から70艇、約100名が出場した。

4 観月会

9月25日（火）午後5時から外宮勾玉池を中心に全国から応募のあった短歌と俳句、舞楽が公開された。また約500名が観月茶会に参加し幽玄な世界を楽しんだ。

5 伊勢フットボールヴィレッジ構想

伊勢市朝熊町（県営サンアリーナ付近）にサッカー場を7面整備し、大会や合宿を通じ市外から集客を図り、既存の観光資源と結びつけることで、経済の活性化を目指す「伊勢フットボールヴィレッジ構想」を策定した。

また、同構想の一部エリアである朝熊山麓芝生球技場に、株式会社赤福からの寄附によりロングパイル人工芝ピッチ2面、照明塔12基などを備えた「伊勢市朝熊山麓フットボール場」を

設置した。平成19年10月6日（土）～8日（月）に同フットボール場の竣工記念イベントとして、記念式典、元Jリーガーによる小学生対象サッカー教室および招待大会を開催した。

平成20年3月には、同構想の一部エリアである県営サンアリーナ前の県有地について、県営サンアリーナ西側高台の市有地と交換した。

○ 観光行事振興事業関係

1 第55回伊勢神宮奉納全国花火大会【平成19年9月8日（土）】

北は秋田県から南は鹿児島県の全国各地から選抜された50の花火師が参加する競技花火大会で、打上花火の部50組、スターマインの部10基の2部門で競われ、神宮奉納ならではの格調、質ともに全国トップレベルの花火玉9,055発が打ち上げられた。

平成19年度は、当初予定していた7月14日に台風が接近したため9月8日に延期となった。また平成18年度に引き続き第62回神宮式年遷宮・お木曳行事記念として開催され、55回記念スターマイン「花火今昔物語」が放揚されたほかオープニングには5号玉55連発の放揚など盛大に開催された。今年度から競技花火大会として質の向上のために審査員の全面見直しを実施したほか有料観覧席に2人用栈敷席を導入し、好評を得た。

また、平成14年から続けている、会場内のエコナビゲートボランティアを今回も実施し、NPO団体の協力により、延期したにも関わらず99名のボランティアが、ゴミの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行い環境に配慮した大会運営に努めた。

観客数 20万人

2 春まつり【平成19年4月1日（火）～10日（木）】

日本のさくら名所百選の宮川堤において、（社）伊勢市観光協会との共催、宮川保勝会の協力により、夜桜のライトアップとぼんぼりで花見客を迎えた。

5月17日（木）18日（金）に「第3回日本観光交流・伊勢会議及び第40回観光祈願祭」を開催し、東海旅客鉄道（株）代表取締役社長の松本正之氏の基調講演や全国の観光関係事業者等によるグループディスカッションを行なったほか、2日目にはエクスカーションに参加した。

3 伊勢楽市

【第16回：平成19年4月14日（土）・15日（日）、第17回：11月10日（土）・11日（日）】

平成8年度から（社）伊勢市観光協会と共催で、滞在型観光による伊勢市駅前の活性化と地場産業の振興を図るため、神宮参道を中心に、伊勢市及び近隣市町村の地場産品、農林水産物、工芸品の販売及びPRを「市」という形で実施している。

4月、69業者（117ブース）来場者 120,000人

11月、70業者（122ブース）来場者 100,000人

また、（社）伊勢市観光協会青年部と共同で、11月3日（土）、津市高虎楽座に伊勢楽市ブースを出店し、伊勢うどんや干物、あおさ等を販売し観光PRを行った。

○ 民俗伝統行事推進事業

1 お伊勢大祭【平成 19 年 10 月 13 日（土）～17 日（水）】

今年で 113 年目を迎えた伊勢おおまつりは、13 日（土）には太鼓の競演、夜には提灯などで装飾された飾り車や手筒花火、14 日（日）には華々しい伊勢音頭、パレードや踊りが実施された。

また、初穂曳と神嘗祭奉祝事業も同時開催され、15 日（月）に外宮領で初穂をお木曳車に載せ、賑やかに練りながら外宮へ奉納する陸曳（初穂曳）を行い、翌 16 日（火）内宮領で木ヅリに載せ五十鈴川を溯り内宮へ奉納する川曳を実施した。そして、神嘗奉祝事業として徳島県の「阿波踊り」、山形県の「花笠踊り」、沖縄県の「エイサー」、岐阜県の「郡上踊り」、秋田県の「西馬音内盆踊り」など日本の三大民謡、三大パレード、三大盆踊りが揃い、14 日（日）の夜にはサンアリーナにて神嘗晦日祭（前夜祭）を、15 日（月）には外宮前「お木曳の道」（県道伊勢南島線）にて奉納祭饗演をおこなった。

観客数延べ 292,500 人 参加団体 205 団体 参加人数 13,730 人

2 民俗伝統行事推進事業

平成 25 年に行なわれる第 62 回神宮式年遷宮に向け、伊勢市の無形民俗文化財であり、500 年以上の歴史を誇る「お木曳行事」（第二年次）を平成 18 年（第一年次）に引き続き実施した。総観客数 287,500 人。2 年間で 559,600 人。

(1) 浜参宮

4 月 22 日（日）奉曳本部・奉曳団連合会役員約 250 名により、第一年次同様、二見興玉神社にて浜参宮を行い、外宮・内宮に参拝し奉曳の無事完遂を祈願した。

(2) お木曳

① 外宮領・陸曳

5 月 4 日（金）～6 月 3 日（日）までの各・土・日・祝日（11 日間）、宮川（中島町）～ 県道伊勢南島線 ～ 外宮北御門 ～ 外宮貯木池まで、57 団・48,000 人により 148 本の御用材を奉曳した。

② 内宮領・陸曳

5 月 12 日（日）、神宮徴古館 ～ 御幸道路 ～ 宇治橋 ～ おはらい町 ～ 神宮宇治工作場まで大湊奉曳団 2,500 人により内宮御正殿棟持柱を奉曳した。

③ 内宮領・川曳

7 月 21 日（土）～29 日（日）までの各土・日曜日（4 日間）、三重県営体育館裏河川敷～五十鈴川 ～ 宇治橋 ～ 参集殿前まで 18 団・14,400 人により 55 本の御用材を奉曳した。

④ 一日神領民・陸曳

5 月 5 日（土）～6 月 3 日（日）までの各金・土・日曜日（14 日間）、宮町交差点 ～ 宮町通 ～ 県道伊勢南島線 ～ 外宮北御門まで一日神領民 42,000 人により奉曳した。

(3) 上り参宮・終了式

9月2日(日)奉曳本部・奉曳団連合会役員約150名により、第一年次同様、お木曳行事の無事終了を報告と感謝のため上り参宮を実施した。両宮参拝後、引き続き内宮参集殿において終了式をおこない、第62回神宮式年遷宮用材奉曳の全日程の幕を閉じた。

(4) 情報発信・市民啓発

お木曳行事の日程、参加奉曳団、みどころ等をわかりやすく解説したシリーズ「お木曳行事」のチラシを4回、計229,000部発行し、市民への啓発及び観光客等への情報発信を行った。

(5) 奉曳団未結成地域への対応

かねてよりおこなっているお木曳き行事参加の呼びかけにより、第一年次の小俣町小俣奉曳団・小俣町明野奉曳団、北浜連合奉曳団に続き、第二年次において、宮沼連合奉曳団が新規結成され参加した。

○ 協力・協働による観光関連事業関係

1 観光行事等への後援

市内開催の各種観光行事等へ後援し、周知宣伝等の協力を行った。

開 催 日	名 称
19. 4. 21 (土) ~5. 6 (日)	太江寺ふじまつり
5. 5 (土)	倭姫宮春の大祭奉祝行事
5. 26 (土) ~27 (日)	第23回どんどこ祭り
7. 1 (日)	木遣りでおもてなし
7. 7 (土) ~8. 31 (金)	第3回「二見七夕・星まつり」
7. 14 (土)	第23回しめなわ曳
7. 28 (土) ~8. 1 (水)	第10回「外宮さんゆかたで千人お参り」
8. 1 (水) ~7 (火)	第四回伊勢神宮展
8. 25 (土) ~9. 2 (日)	伊勢のお木曳写真展
9. 8 (土)	第6回伊勢伝統芸能鑑賞会
9. 8 (土) ~9 (日)	第五回神恩感謝 日本太鼓祭
9. 16 (日)	第26回伊勢音頭フェスティバル
9. 22 (土) ~23 (日)	25h伊勢志摩舞祭り
9. 23 (日)	第2回音しゃい祭り
9. 25 (火)	観月会
9. 29 (土)	第10回伊勢の伝統の能楽まつり
10. 13 (土) ~17 (水)	お伊勢大祭写真コンテスト
10. 14 (日)	伊勢市駅百十周年 伊勢市駅前参宮鉄道大祭
10. 14 (日) ~17 (水)	第7回神嘗祭奉祝事業
10. 20 (土) ~21 (日)	神宮奉納 全国生涯野球チャ・アップ伊勢大会
10. 27 (土) ~28 (日)	第3回神宮奉納 全国高齢者ラグビー伊勢大会

11. 1 (木) ~15 (木)	猿田彦神社七五三祭
11. 4 (日)	秩父宮杯第 39 回全日本大学駅伝対抗選手権大会
11. 5 (月)	「倭姫宮秋の大祭」奉祝行事
12. 9 (日)	第 26 回伊勢志摩中日ウォーキング大会
12. 9 (日)	第 19 回伊勢民踊まつり
12.15 (土) ~16 (日)	第 1 回おさないカップユースサッカー大会
12.28 (金) ~20. 1. 1	第 35 回伊勢迄歩講
20. 2. 9 (土)	あのりふぐまつり
2.15 (金) ~16 (土)	ママさんバレーボール・ことぶき 第 8 回親善交流大会 i n 伊勢
3. 2 (日)	検定「お伊勢さん」
3. 2 (日)	第 2 回おひなさま俳句大会
3.16 (日)	第 1 回「もっと知りたい！みえの伝統芸能」
3.16 (日)	保存会設立 40 周年記念 一色能
3.20 (木) ~30 (日)	山口誓子俳句館特別展「俳句の里伊勢」～誓子と波津女～
3.22 (土) ~23 (日)	第 11 回伊勢市高校サッカーフェスティバル

交 通 政 策 課

○ 三重県交通災害共済事業

三重県交通災害共済条例により、交通事故による災害を受けた者の当面の窮状を救済し、その生活の安定に寄与するとともに、交通事故の防止を喚起するため、市の受託事業として三重県交通災害共済の加入及び見舞金の給付に関する事務を行った。

1 加入資格

- (1) 県内市町の住民基本台帳に記録され、または、外国人登録している方
- (2) 前記に掲げる方の子供で県外の学校等に在学している方
- (3) 県外の居住者で、県内にある事業所に勤務し、または学校等に在学している方

2 掛金額（年額1人あたり）

一般……500円 生活保護受給者……200円

3 加入状況の推移

区 分	19年度	18年度	17年度
加入者数	37,945人	39,895人	42,314人
加入率	28.4%	29.7%	31.4%

(注) 伊勢市の加入期間は1月1日～12月31日である。

4 見舞金給付状況の推移

等級	見舞金額	19年度		18年度		17年度 (11～3月)		17年度 (4～10月)	
		件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
1	千円 1,200	4	4,800	1	1,200	4	4,800	3	3,600
2	1,200	—	—	—	—	—	—	1	1,200
3	800	—	—	—	—	—	—	—	—
4	600	—	—	—	—	—	—	—	—
5	400	—	—	—	—	—	—	—	—
6	200	—	—	—	—	—	—	—	—
7	(注)	—	—	—	—	—	—	—	—
8	150	—	—	3	450	5	750	1	150
9	90	2	180	1	90	—	—	—	—
10	80	4	320	8	640	3	240	2	160
11	55	9	495	5	275	—	—	2	110
12	45	11	495	9	405	9	405	8	360
13	35	31	1,085	44	1,540	15	525	24	840
14	25	139	3,475	129	3,225	79	1,975	63	1,575
追給	—	5	220	2	2,100	1	1,120	—	—
計	—	205	11,070	202	9,925	116	9,815	104	7,995

(注) 7等級は、3等級から6等級までの等級に該当する障がい者が2以上存する場合、重い障がいに該当する等級の1級上位の等級の額を給付する。

○ 交通安全推進事業

1 交通安全啓発・指導の推進

(1) 交通安全啓発

交通安全運動期間中の活動

ア 交通安全運動実施時期

春の全国交通安全運動	5月11日（金）～5月20日（土）
夏の交通安全県民運動	7月11日（水）～7月20日（日）
秋の全国交通安全運動	9月21日（金）～9月30日（日）
年末の交通安全県民運動	12月11日（火）～12月20日（木）

イ 交通安全運動期間中の活動

a 運動初日の早朝街頭指導

交通安全運動初日に、各関係団体と連携して早朝街頭指導を実施した。

b 大規模店舗等において店内放送の実施

ジャスコ伊勢店及びララパークにおいて店内放送を実施し、運動を広報した。

c チラシ啓発物品の配布

市内のガソリンスタンド5店舗でチラシ及び啓発物品（ポケットティッシュ等）各500点を配布した。

d 横断幕等の掲出

のぼり旗・・・・・・・・市役所、伊勢総合病院等 約100本

懸垂幕・・・・・・・・市役所

横断幕・・・・・・・・岩渕1丁目（宇治山田駅前）、一志町（厚生小学校前）

e C A T V文字放送及び市ホームページでの交通安全啓発

(2) 早朝街頭指導の実施

毎月11日の交通安全の日に、伊勢市役所部課長級職員や伊勢市交通安全母の会等が伊勢警察署員や伊勢地区交通安全協会等とともに、早朝街頭指導を実施し、通学路や交差点における交通事故防止を図った。

2 委託事業等

当市が、委託事業・負担金・補助金を支出している交通安全推進団体の活動状況は、次のとおりである。

(1) 委託事業

ア 伊勢市交通安全都市推進協議会

伊勢市の交通安全条例に基づき、伊勢市内での交通事故防止を図るため、交通安全啓発活動を積極的に推進した。主な活動状況は、次表のとおりである。

実施日	内 容	備 考
19. 10. 14	パトカーを先頭に、三重県警察音楽隊・小学生児童による交通安全宣言（録音テープ）・伊勢市交通安全母の会・交通安全協会女性部・防災まちづくり親睦会（市民団体）・わんわん（犬）パレード等による交通安全啓発隊を編成し、広く市民に楽しく交通安全を啓発した。	開催場所 曾祢地区～伊勢市駅前 参加人員 県道鳥羽松阪線 約 300 名
20. 2. 23 (表彰式) 20. 3. 4～13 (展示)	児童の交通安全意識の高揚を図るため、市及び市教育委員会主催の、第 37 回伊勢市児童交通安全図画ポスター展を後援した。優秀作品の表彰式・展示を行い、来訪者等への交通安全啓発活動に活用した。	応募総数 934 点 入賞作品 39 点 入選作品 150 点 展示場所 ララパーク S C
20. 3 月	平成 20 年度市内小学校新入学児童の交通安全対策として、ランドセルカバーを購入し、各小学校を通じて対象者全員に配布した。	配付枚数 1, 206 枚
年度中	薄暮及び夜間の自転車や歩行者の交通事故防止のため、夜光反射材等を購入し、各種講習会等において配布し、着用促進・交通安全意識の高揚を図った。	反射タスキ・バンド 1, 750 枚 反射シール・ステッカー 1, 700 枚 自転車リフレクター 800 個 反射風呂敷 300 枚 ポケットティッシュ 3, 000 個

(2) 負担金事業

ア 伊勢・度会地区交通安全対策協議会

伊勢市と度会郡の 3 町及び伊勢警察署で結成し、交通安全教育活動、各季の交通安全運動期間中の交通安全啓発活動を行い、交通事故のない伊勢度会地区の実現を図った。主な活動は、次のとおりである。

○ セーフティー・スクールレディによる交通安全講習

幼 児	1, 939 人	26 回	(1, 675 人 23 回)
小学生	5, 913 人	25 回	(4, 064 人 14 回)
中・高・大学生	673 人	6 回	(484 人 4 回)
高齢者	2, 034 人	42 回	(644 人 12 回)

() 内は伊勢市分の内数

○ 交通安全シルバーサポート隊による啓発活動

22 地区（市内 18 地区）において、主として歩行中や自転車乗車中の高齢者等に対し積極的な声かけを行い、夜光反射材等の交通安全啓発品を直接貼付、もしくは配布した。（計 630 人）

(3) 補助金事業

市内小学校・幼稚園・保育所単位で構成される交通安全活動推進団体に対し、交通安全活動推進事業交付金を交付し、交通事故のない地域づくりを支援した。

交付団体数 37 団体（小学校 23 校・幼稚園 4 園・保育所 10 所）

(4) 伊勢市交通安全母の会

会報「あんぜん」の発行、伊勢おまつり交通安全パレードへの参加、各交通安全研修会への参加等、交通事故のない安全な地域社会の実現を図った。

伊勢市交通安全母の会加入状況

(単位：人)

進修小	修道小	有緝小	早修小	中島小	明倫小	厚生小	神社小
208	373	557	198	316	410	420	366
大湊小	宮山小	浜郷小	四郷小	豊東小	豊西小	東大淀	城田小
186	289	353	185	119	226	135	391
上野小	小俣小	明野小	合計 19 団体 6,008 人				
102	651	523					

3 放置自転車対策

(1) 放置自転車撤去廃棄

駅周辺の美観の保持、駐輪場の有効利用、道路の安全通行確保を図るため、長期放置自転車の撤去廃棄を行った。

放置自転車撤去廃棄台数 合計 725 台 (年 3 回分)

(5月24日実施	廃棄 367 台
	12月13日実施	廃棄 57 台
	3月26日実施	廃棄 301 台

(2) 駐輪場の整理

駅前駐輪場及び道路駐輪車両の整理を社団法人伊勢市シルバー人材センターに委託し、駅周辺の美観の保持、駐輪場の有効利用、道路の安全通行確保を図った。

伊勢市駅北・西駐輪場、宇治山田駅前第1・第2・第3駐輪場、宮町駅駐輪場、明野駅駐輪場、小俣駅駐輪場、JR二見駅駐輪場等

4 伊勢市児童交通安全図画ポスター展の開催

市内小学校から、交通安全図画ポスターを募集し、応募の 934 点の中から、優秀作品 39 点及び入選 150 点を選出し、表彰及び展示を行った。

表彰式 2月23日(土) ハートプラザみその 多目的ホール

展示 3月4日(火)～3月13日(木) イオンララパークショッピングセンター1階

○ 交通対策推進事業

1 伊勢地域観光交通対策推進事業

平成 17 年 8 月に、伊勢地域の観光振興を図り、かつ地域住民が安心して生活できる環境を整備するため、伊勢地域周辺における交通渋滞を解消することを目的とした「伊勢地域観光交通対策協議会」を発足し、伊勢地域の観光交通対策を行っている。

負担団体	事業内容	負担金額
伊勢地域観光交通対策協議会	<p>1. パーク&バスライド サンアリーナ臨時駐車場～外宮・内宮間にシャトルバスを運行させ、正月時期における外宮・内宮周辺の交通渋滞の解消・緩和を図った。 平成19年12月31日～平成20年1月6日</p> <p>2. 初参り交通対策 外宮・内宮・二見周辺の初参り交通対策として、来訪者交通の円滑な移動を図るため、看板の設置、警備員による車両誘導や臨時駐車場の運営を行った。 平成19年12月31日～平成20年1月6日 平成20年1月7日～平成20年1月31日の土日祝日</p> <p>3. ゴールデンウィーク交通対策 ゴールデンウィーク期間中の内宮周辺交通対策として、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 平成19年4月28日～平成19年5月6日</p> <p>4. その他 土日祝日の内宮周辺交通渋滞対策として、宇治浦田交差点に警備員を配置し、車両誘導を行った。 また、3連休等の混雑期には、看板の設置、警備員による車両誘導、臨時駐車場の運営を行った。 平成19年4月1日～平成20年3月31日の土日祝日</p>	5,000,000円

2 交通システム構築事業

伊勢市の交通現況を抜本的に見直し、交通のあり方や課題を整理し、生活者の利便性向上や来訪者の交通アクセスの向上など人々を迎え住民にとってもやさしい交通システムの構築に向けた対応方策の検討を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	伊勢市交通システム検討業務委託	<p>1 まちづくりにおける地域交通の役割検討</p> <p>2 観光実態の把握</p> <p>3 地域交通の特性と課題整理</p> <p>4 短期的課題の対応方策検討</p> <p>5 調査検討項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パーク&ライド ・都市回遊のための移動 ・交通結節点 	4,620,000円	19. 7.19	20. 3.14

○ コミュニティバス運行事業

平成19年4月1日より、公共交通サービスの地域格差の是正や、交通弱者への交通手段の提供など、公共交通サービスの充実を図るため、公共交通の不便な地域を中心に、9つの路線でコミュニティバスの運行を開始した。

運行後については、地域住民との検討会や、学識者・運行事業者等との地域公共交通会議を開催し、平成20年度の運行に向けての路線の変更やダイヤ改正の検討を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	伊勢市コミュニティバス運行に伴う施設整備等業務委託	コミュニティバスの運行に伴う施設整備等 ・バス停留所設置 ・バス車両搭載器設置 ・バス車体表示 ・定期券作成	円 7,152,913	18.12.18	20.3.31
伊勢市内	伊勢市コミュニティバス運行業務委託	交通不便地域におけるコミュニティバスの運行	77,649,908	19.4.1	20.3.31
伊勢市内	公共交通サービス提供方針策定業務委託	公共交通サービスのあり方とサービス提供方針の策定	4,760,700	19.5.29	20.3.28
計		3件	89,563,521		

○ 路線バス運行維持事業

事業者による運行維持が困難なバス路線の運行を維持し、地域住民の交通手段を確保した。

ア 沼木線（不採算路線バス） 5,536,000円

三重交通(株)による運行維持が困難であるため、経常損益を負担し、運行を維持した。

イ 玉城線（第3種生活路線バス） 1,411,000円 ※18年度下半期分

三重交通(株)による運行維持が困難であるため、第3種生活路線維持費補助金の適用を受け、経常損益の1/2を伊勢市と玉城町が系統km程による按分で負担し、運行を維持した。

ウ 玉城線（廃止代替自主運行バス） 5,320,350円

三重交通(株)の運行廃止対象路線であるため、三重県の市町村自主運行バス等維持費補助金の適用を受け、経常損益の一部を、伊勢市と玉城町が系統km程による按分で負担し、運行を維持した。

○ 伊勢湾海上アクセス推進事業

交通システムの見直し整備の一環として、伊勢湾海上アクセスの充実を図ることにより、三重県南部地域と中部国際空港を結ぶ海の玄関口としての機能を果たすと共に、伊勢志摩地域を訪れる来訪者の利便性及び周遊性を高め、経済効果と地域活性化を図るための調査・測量・工事等を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
下野町内 地	海上アクセス周辺 施設測量業務委託	中心線測量 300m 平板測量 2.0ha 4級基準点測量 5点	円 (注1) 1,590,750	19. 2.26	19. 5. 1
下野町内 地	海上アクセス施設 整備に伴う地質調 査業務委託	(ターミナル敷地内) ボーリング(1箇所)26m 標準貫入試験 26回	(注1) 1,168,650	19. 3.13	19. 5. 1
下野町内 地	海上アクセス周辺 施設設計業務委託	進入路、駐車場 係留施設等設計業務 一式	(注1) 6,128,850	19. 3.16	19. 6.28
下野町内 地	(注2) 旅客ターミナル建 築設計業務委託	木造平屋建 延べ面積 381.0 m ²	(注1) 3,029,250	19. 4. 3	19. 7.31
下野町内 地	海上アクセス施設 整備に伴う地質調 査業務委託 (その2)	(進入路部分) ボーリング(1箇所)26m 標準貫入試験 26回	(注1) 922,950	19. 4.19	19. 5.18
下野町内 地	(注3) 海上アクセス周辺 施設深淺測量業務 委託	深淺測量 16 測線 中心線測量 0.04 k m 縦断測量 0.11 k m	(注1) 1,505,700	19. 4.24	19. 5.22
下野町内 地	海上アクセス周辺 用地測量業務委託	(進入路部分) 用地測量 一式	(注1) 777,000	19. 5.11	19. 7. 4
下野町内 地	海上アクセス施設 整備に係る土質分 析検査業務委託	(浚渫地部分) 土壌検査業務 一式	606,480	19. 6. 1	19. 7. 5
下野町内 地	(注3) 海上アクセス周辺 施設積算業務委託	積算業務 一式	(注1) 2,887,500	19. 6. 7	19.11.12
下野町内 地	海上アクセス補償 費算定業務委託	付帯工作物調査 1 箇所 動産調査 1 事務所 通損調査 1 所有者 非木造建物調査 1 棟	(注1) 1,102,500	19. 6.20	19. 7.19

下野町内 地	(注2) 海上アクセス旅客 ターミナル新築工 事監理業務委託	木造(大断面構造)平屋建 延べ面積 381.00 m ² 建築面積 518.80 m ² 監理業務委託 一式	円 (注4) 1,470,000	19.11.6	20.4.11
下野町内 地	海上アクセス旅客 ターミナル付属建 屋設計業務委託	通路及び傾斜路上屋 設計業務 木造瓦棒葺き W=2.5~7.2m L=108m	985,950	19.11.12	20.1.31
下野町内 地	海上アクセス補足 設計業務委託	係留施設スキヤニング 業務 一式 係留施設CAD修正 業務 一式 給油施設関係詳細設計 業務 一式	307,650	19.12.10	20.3.20
計		13件	22,483,230		

(注1) 平成18年度から繰越

(注2) 建築住宅課施行

(注3) 水産課施行

(注4) 平成20年度へ繰越

(2) 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
下野町内 地	(注2) 海上アクセス周 辺泊地浚渫工事	浚渫土量 V=15,410 m ³ 浚渫面積 A=7,548 m ² セメント安定処理工 V=7,500 m ³ 護岸工 一式 構造物撤去工 一式	円 (注1) 108,934,350	19.7.13	19.10.25
下野町内 地	(注2) 海上アクセス周 辺施設整備工事	護岸工 L=24m 擁壁工 L=166m 排水工 L=296m 縁石工 L=528m 防護柵工 L=361m 給水設備工 L=234m 植栽工 N=813本	(注1) 86,635,500	19.11.9	20.3.28
下野町内 地	(注3) 海上アクセス旅 客ターミナル新 築工事 (建築工事)	木造平屋建 延べ面積 381.00 m ² 建築面積 518.80 m ² 建築工事 一式 電気設備工事 一式	99,361,500	19.11.9	20.3.27

下野町内 地	(注3) 海上アクセス旅 客ターミナル新 築工事 (機械設備工事)	木造平屋建 延べ面積 381.00 m ² 建築面積 518.80 m ² 屋内外給排水設備工事 衛生器具設備工事 一式 浄化槽設備工事 一式 機器設備工事 一式 配管設備工事 一式 空調ダクト設備工事 一式 換気設備工事 一式	円 14,962,500	19.11.9	20.3.27
下野町内 地	(注4) 下野大湊線道路 改良工事	法面工 A=180 m ² 舗装工 A=940 m ² 擁壁工 L=43m ボックスカルバート工 L=39m 排水工 L=176m 防護柵工 L=63m	(注5) 67,714,500	19.11.16	20.3.28
下野町内 地	(注2) 海上アクセス周 辺電気施設整備 工事	高圧受電設備 1式 駐車場外灯設備 19基 係留施設動力設備 1式 係留施設電灯設備 1式	(注6) 34,896,750	19.11.9	20.4.11
下野町内 地	(注2) 海上アクセス旅 客ターミナル舗 装工事	舗装工 A=9,892 m ² 区画線工 L=3,554m 排水工 L=16m 法面工 L=1,830 m ² 縁石工 L=59m 防護柵工 L=34m	(注7) 27,263,250	20.1.18	20.4.15
下野町内 地	(注2) 海上アクセス係 留施設整備工事	浮棧橋加工・据付工 12m×33m 1基 連絡橋製作・据付工 3m×22m 1基 灯浮標 5箇所	(注5) 147,305,550	19.12.28	20.3.27
下野町内 地ほ	海上アクセス案 内板設置工事	案内標識購入 4箇所分	1,244,250	20.2.1	20.3.27
下野町内 地	(注8) 海上アクセス消 火栓設置工事	消火栓設置工 1基	(注5) 703,500	20.1.31	20.2.29
計		10件	589,021,650		

(注1) 平成18年度から一部繰越

(注2) 水産課施行

(注3) 建築住宅課施行

(注4) 維持課施行

(注5) 平成18年度から繰越

(注6) 平成20年度へ一部繰越

(注7) 平成20年度へ繰越

(注8) 上水道課施行

(3) 用地買収関係

場 所	地権者数	筆 数	面 積	金 額
下野町地内	1 名	1 筆	467.18 m ²	(注) 円 6,587,238

(注) 平成 18 年度から繰越

(4) 補償関係

場 所	補償人数	補 償 項 目	金 額
下野町地内	1 名	建 物 一式 工 作 物 一式 動 産 一式 移 転 雑 費 一式 資 材 移 設 費 一式 立 木 一式	円 (注) 14,223,104

(注) 平成 18 年度から繰越

(5) その他

内 容	金 額	備 考
ターミナル用地の土地賃借料	円 8,208,960	月額 1,026,120 円 × 8 箇月分
伊勢湾海上アクセス推進事業に伴うアサリ稚貝の放流	(注) 1,499,610	kgあたり 193 円 × 7.4t × 1.05
高速船チラシ作成費	197,910	40,000 枚作成

(注) 平成 20 年度へ繰越